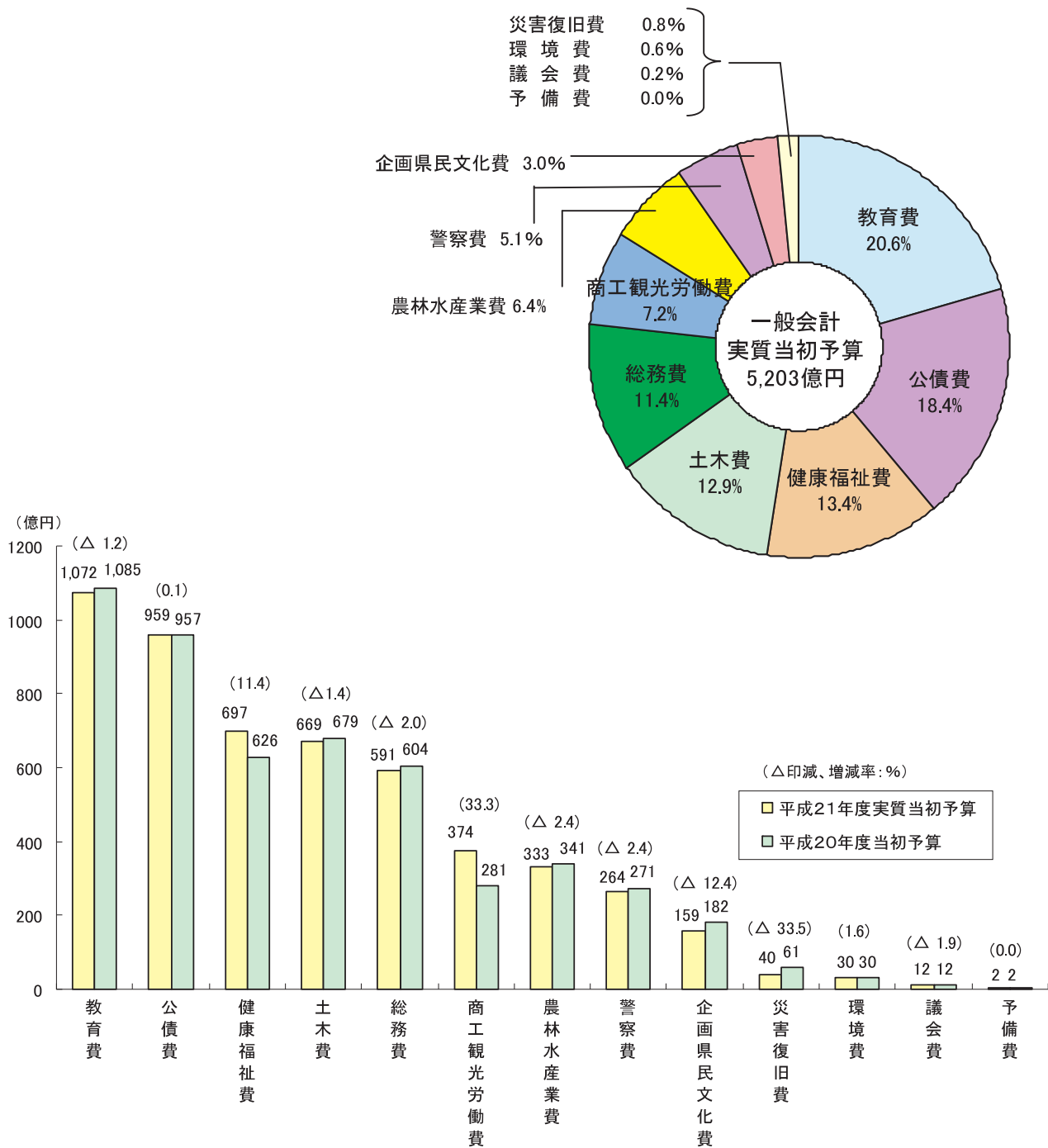


V 予算はどのような目的に使われるのですか。 —一般会計歳出予算—

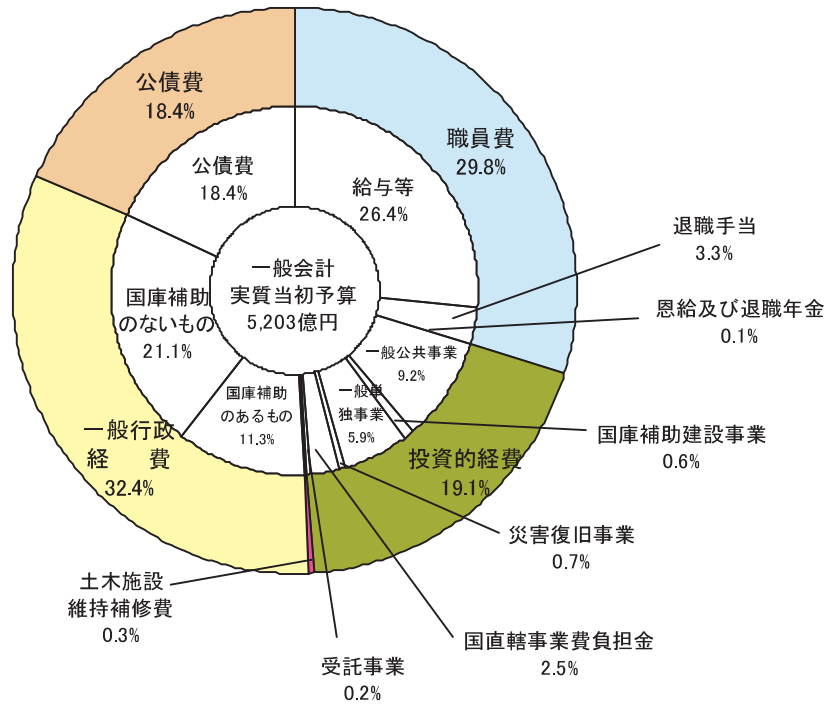
目的別（款別）内訳



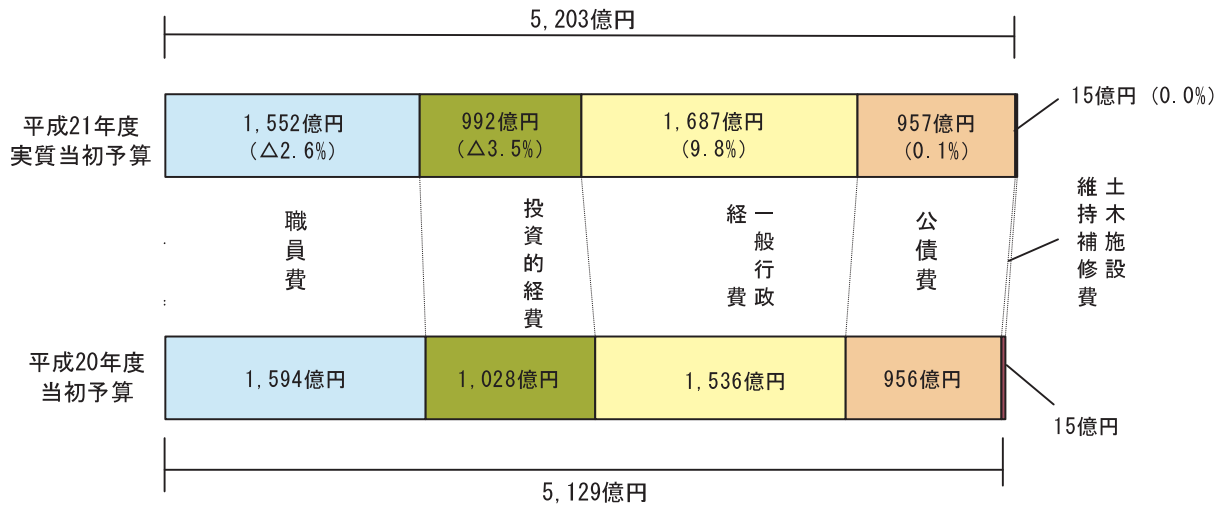
(注) 円グラフ、棒グラフは端数処理のため、内訳が合計に一致しない場合があります。

- 目的別（款別）にみると、構成比では、小・中・高等学校の教職員の人件費や高等学校の整備費などの教育費が 20.6%と最も多く、次いで公債費、健康福祉費となっています。
- 平成 21 年度実質当初予算では、経済・雇用対策に重点的に取り組むこととしたことから、農工商観光労働費が平成 20 年度に比べ 33.3%の大幅増となっています。

# 性質別内訳



(△印減、増減率：%)



(注) 円グラフ、棒グラフは端数処理のため、内訳が合計に一致しない場合があります。

- **職員費**は、全体の約3割を占めていますが、「石川県行財政改革大綱2007」により職員数の削減を進め、退職手当についても当面のピークを越えた結果、職員費全体で2.6%の減となっています。
- **投資的経費**は、全体の約2割を占めており、対前年度比3.5%減となっています。しかし厳しい財政環境の中にあっても思い切った事業量を確保し、内需拡大を図るため、金沢港大水深岸壁やダム建設などの大型プロジェクトと災害復旧事業費を除いて、対前年度比3.4%増とし、特に単独事業については、9.6%増と平成9年度以来12年ぶりのプラスとなりました。
- **一般行政経費**は、平成20年度第1次3月補正予算において複数年にわたる事業費を積み立てておく基金の設置・増額に係るものが106億円余あり、対前年度比9.8%増と大幅なプラスとなりました。

## ひとくちメモ

### 投資的経費

道路、学校、公営住宅の建設等その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費で、普通建設事業費及び災害復旧事業費からなっています。

普通建設事業のうち、国の補助金・負担金を受けて行う事業の大半が「一般公共事業」、国からの補助等を受けることなく独自に実施する事業が「一般単独事業」です。

### 一般行政経費

すべての行政事務に要する経費から、職員費、投資的経費、維持補修費、公債費を除いたものですが、一般的には、投資的経費がハード整備に要する経費であるのに対し、一般行政経費は観光振興、産業振興、少子化対策、環境対策などのソフト事業に要する経費ということができます。

### 公債費

地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額で、借金の返済に要する経費をいい、職員費、社会保障関係経費（医療・介護関連経費や子育て支援施策、障害者施策に要する経費などをいいます。）とともに義務的経費です。

(コラム)

### 実質当初予算における緊急経済・雇用対策について

世界同時不況の大津波により、本県においても経済・雇用情勢は急激に悪化し、経済・雇用対策が喫緊の課題となっています。

百年に一度といわれる経済危機を克服するためには、官民が一致協力してこの難局に取り組まなければなりません。平成21年度実質当初予算においては、①「経営の安心」、②「資金（金融）の安心」、③「雇用の安心」の3つの安心を確保するため、前例にとらわれない思い切った手立てを講じ、さらなるセーフティネットの拡充・強化に全力を注ぐとともに、景気回復を見据えた先行投資として、次世代産業の創出や、県内企業の競争力強化のための研究開発支援、産業人材の育成・確保といった、石川の屋台骨を支える元気な産業づくりにも取り組むこととしました。

特に、雇用対策については、「雇用維持の支援」、「再就職の支援」、「新たな雇用の創出」を三つの柱とし、中でも「再就職の支援」については、求人が大幅に減少している中でも、介護、システムエンジニア、保安、農林漁業など、人手不足の分野への人材のシフトを推進する施策を強化しています。

# 緊急経済・雇用対策

～3つの安心の実現と景気回復を見据えた先行投資～

<当初予算発表資料>

## 3つの安心の実現（セーフティネットの拡充・強化）

### 1 経営の安心

- ・（拡）外部専門家派遣事業の拡充
- ・（新）建設業復業化支援プログラムの創設  
助成制度＋制度融資の利率引き下げ＋入札参加資格の優遇
- ・（新）ISICOに「緊急販路開拓推進室(仮称)」の設置  
受注・販路開拓アドバイザーの増員
- ・（拡）受注開拓懇談会の拡充
- ・（新）海外バイヤー招聘による販路開拓支援
- ・（新）中国でのトライアルショップの設置
- ・（新）活性化ファンドによる小規模企業への支援

### 2 資金（金融）の安心

- ・（拡）制度融資の十分な融資枠の確保  
緊急経営安定支援融資【新規融資枠450億円】  
借換融資【新規融資枠210億円】

### 3 雇用の安心

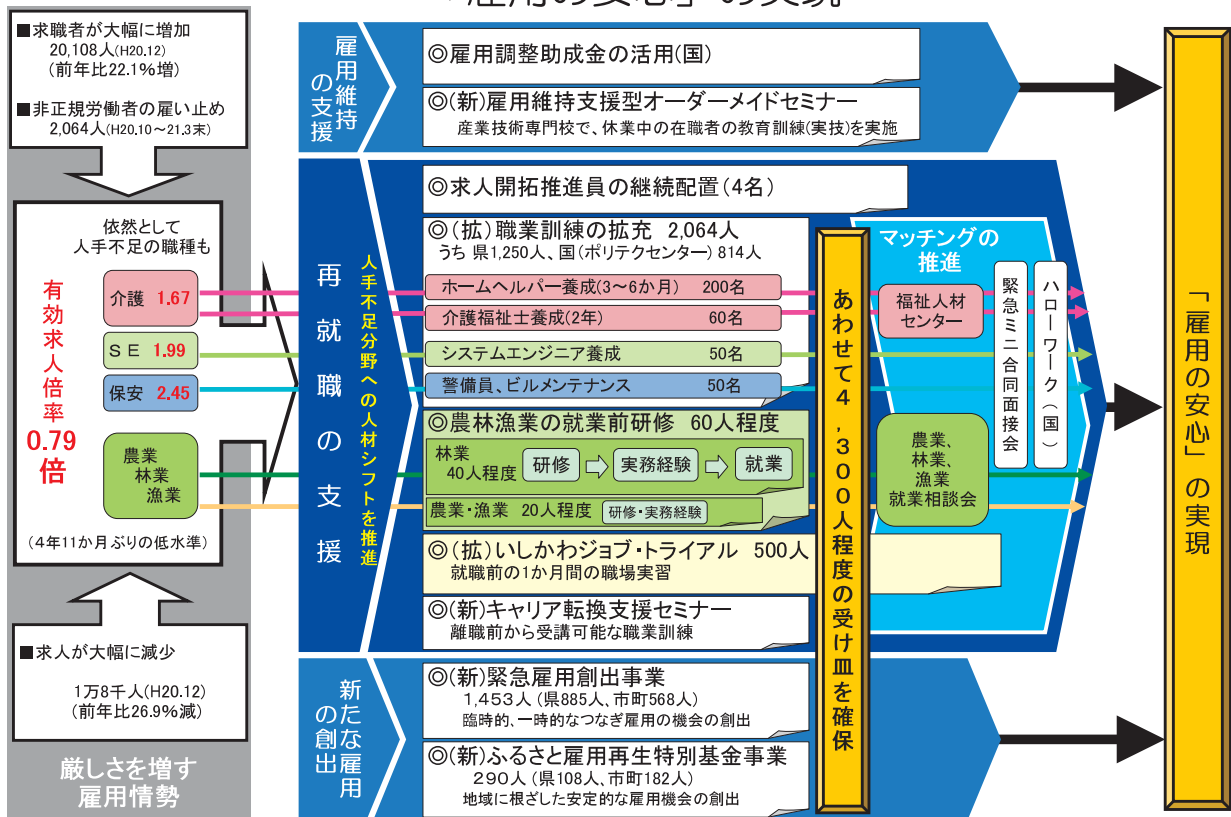
- ・（新）「緊急雇用対策室」の設置
- <雇用維持の支援>
  - ・雇用調整助成金の活用（国）
  - ・（新）雇用維持支援型オーダーメイドセミナーの新設
- <再就職の支援>
  - ・（継）求人開拓推進員の配置
  - ・（拡）緊急ミニ合同面接会の開催（月3～4回）
  - ・（拡）職業訓練の拡充（612人→1,250人）
  - ・（拡）いしかわジョブ・トライアルの拡充（100人→500人）
  - ・（新）キャリア転換支援セミナーの新設
- <新たな雇用の創出>
  - ・（新）2つの雇用創出基金の効果的な活用

## 景気回復を見据えた先行投資（競争力のある元気な産業づくり）

- ・（新）次世代産業の創出支援  
炭素繊維、環境ビジネス、バイオ・アグリビジネスの研究開発支援
- ・（拡）研究開発（競争力強化）支援の拡充  
助成対象の拡大（製造業全般）
- ・（新）産業人材構想(仮称)の策定  
いしかわ産業人材構想策定会議(仮称)の設置

## 「雇用の安心」の実現

<当初予算発表資料>



※ 商工労働部に「緊急雇用対策室」を設置し、雇用対策の推進体制を強化